

LIXIL 門扉 折戸部品

取付説明書

- 門扉本体の取付けは「ジオーナ門扉〈A549〉」の取付説明書を参照してください。
- この取付説明書では、つぎのような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号



- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

■梱包明細表

【1】 部品セット

名 称	略 図	員 数	名 称	略 図	員 数
キャスター		1	折戸丁番裏板		4
キャスターベース		1	落とし棒受け		1
キャスターベース裏板		1	【1-1】M12六角ナット		1
キャスター用スパナ		1	【1-2】M12パネ座金		1
折戸丁番		2	【1-3】M12平座金		1
			【1-4】φ4×50ナベドリルネジ		2
			【1-5】M5×10サラ小ネジ		16
			【1-6】六角ボルトセムスM6×20		2
			取付説明書〈T033〉	—	1

1. 基本寸法図および各部の名称

※図は、H12右勝手の内観図です。
 ※〈 〉内寸法はH14、[]内寸法はH16の場合を示します。

1-1 3枚折戸

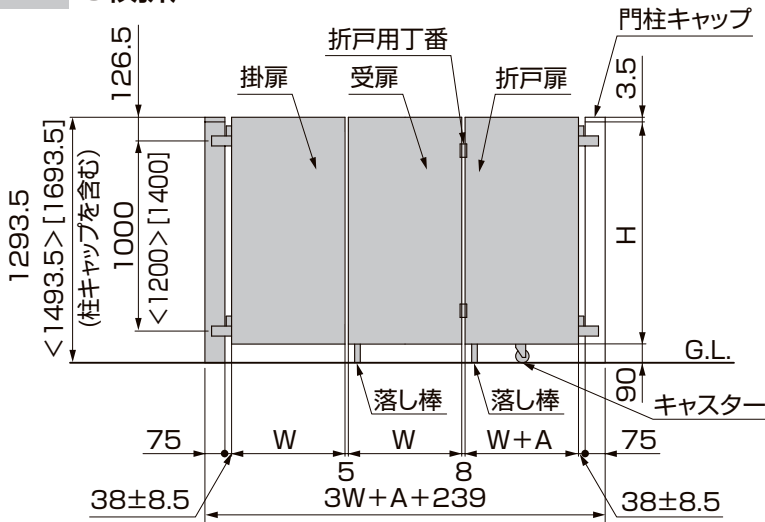


表1-1

呼称	W	A		H
		折戸扉 (YA型を除く)	YA型 折戸扉	
07-12	700	6	4	1200
08-12	800	6	4	1200
09-12	900	6	4	1200
07-14	700	6	4	1400
08-14	800	6	4	1400
09-14	900	6	4	1400
08-16	800	6	4	1600
09-16	900	6	4	1600

※折戸扉の幅(YA型を除く)はW+6mmです。
 YA型折戸扉の幅はW+4mmです。

ポイント

●キャスターが動くG.L.面は、水平仕上げをお願いします。

1-2 4枚折戸

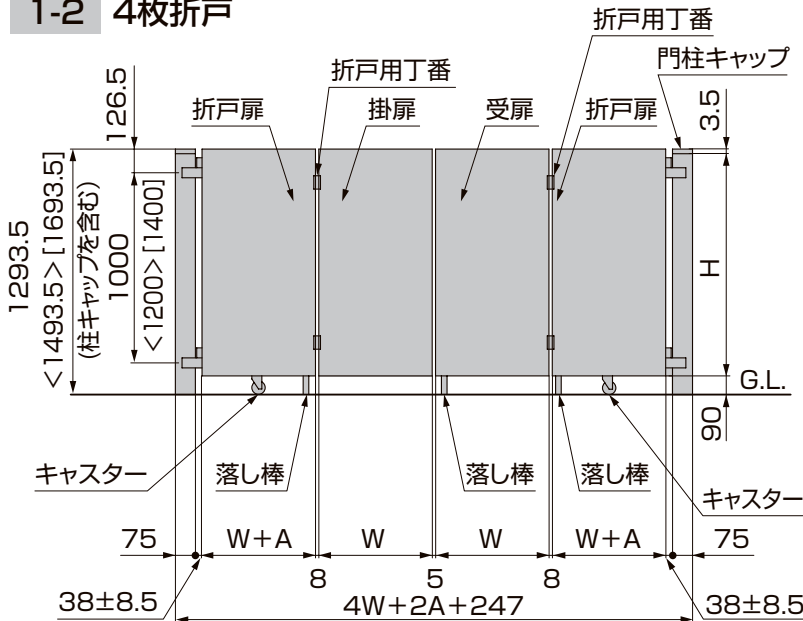


表1-2

呼称	W	A		H
		折戸扉 (YA型を除く)	YA型 折戸扉	
07-12	700	6	4	1200
08-12	800	6	4	1200
09-12	900	6	4	1200
07-14	700	6	4	1400
08-14	800	6	4	1400
09-14	900	6	4	1400
08-16	800	6	4	1600
09-16	900	6	4	1600

※折戸扉の幅(YA型を除く)はW+6mmです。
 YA型折戸扉の幅はW+4mmです。

ポイント

●キャスターが動くG.L.面は、水平仕上げをお願いします。

2. キャスターの取付け

2-1 補強ネジの取付けとキャスターの取付け

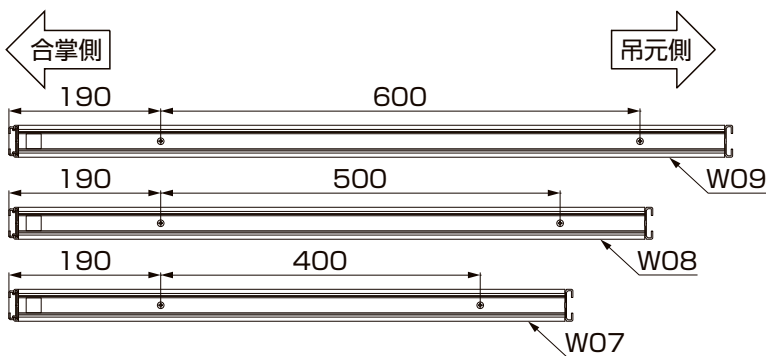


図2-1 下カバーへ補強ネジの取付け位置

① 本体に【1-4】を図2-1の位置に固定してください。(図2-3参照)

ポイント

- キャスターを取付ける折戸扉の下カバーに補強ネジを取付けてください。
- YA型は補強ネジ不要です。
- 【1-4】を取付ける前にφ3.5のドリルで50mmの下穴をあけてください。(図2-1参照)
- 【1-4】は電動ドライバーを使用しないでください。(図2-2参照)
下カバーが変形する恐れがあります。

2-1 補強ネジの取付けとキャスターの取付け(つづき)

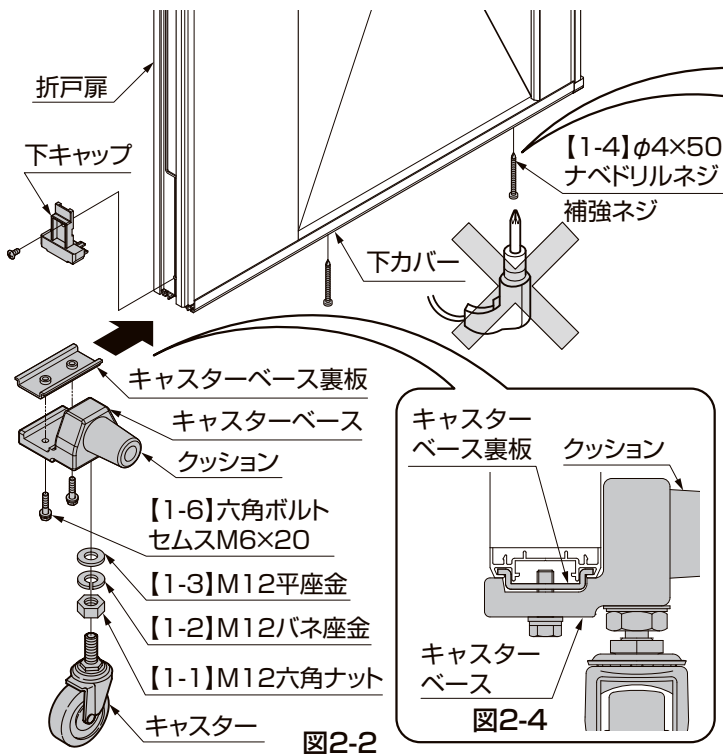


図2-2

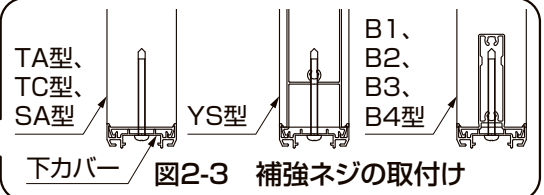


図2-3 補強ネジの取付け

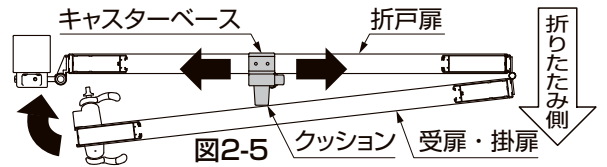


図2-5

- ②キャスターを取付ける折戸扉の下キャップを外してキャスターベース裏板を差し込んでください。(図2-2参照)
- ③キャスターベースにキャスターを[1-1]、[1-2]、[1-3]を使って取付けてください。(図2-2参照)
- ④キャスターベースをキャスターベース裏板に[1-6]で仮止めし、本体を折たたんだ状態でハンドルの当たらない位置にキャスターベースをしっかりと固定してください。(図2-4、図2-5参照)

ポイント

- キャスターベースのクッションの向きは、受扉・掛扉を折りたたみ側に向けて取付けてください。(図2-5参照)

3. キャスターの調整

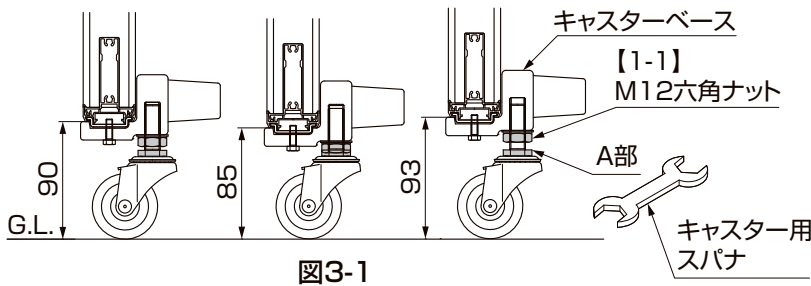


図3-1

- ①門扉を閉めた状態でキャスターのA部を回してキャスターの高さを調整し、キャスターを接地させて、[1-1]をキャスターベースにしっかりと固定してください。(図3-1参照)

ポイント

- 門扉下枠とG.L.の間隙は90mmが標準です。隙間の調整は、門扉本体の取付説明書「門扉の調整」を参照ください。
- A部の調整にはキャスター用スパナを使用してください。

4. 丁番の取付け

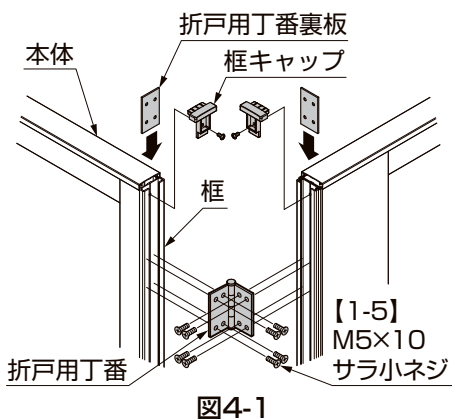


図4-1

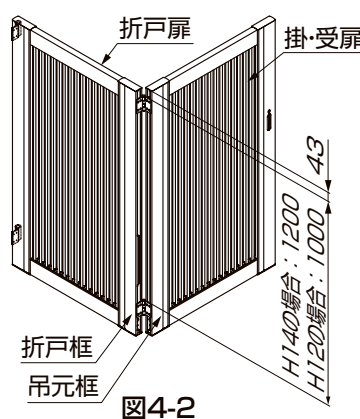


図4-2

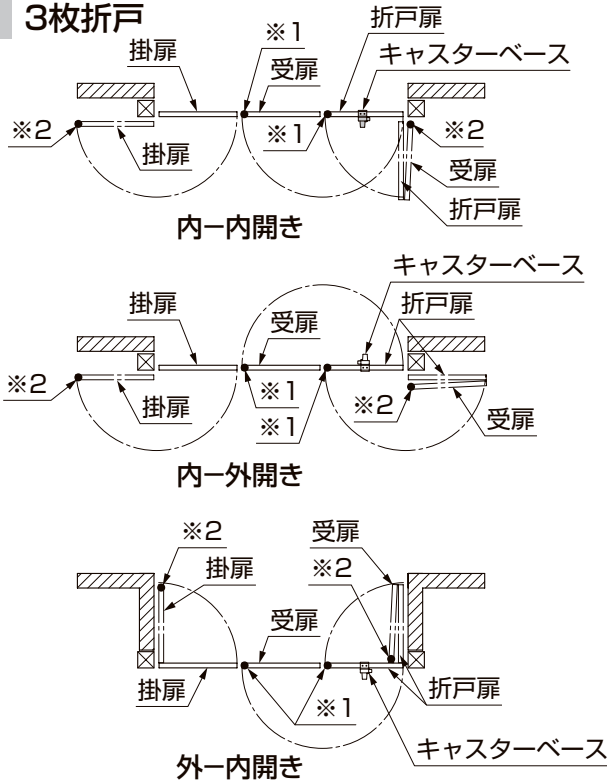
- ①扉の枠に折戸用丁番裏板をはめ込み、[1-5]で折戸用丁番を図4-2の位置にしっかりと固定してください。(図4-1参照)

補足

- 折戸用丁番裏板は、上下どちらかの枠キャップを外し、枠へスライドしてはめ込んでください。

5. 落とし棒受けの施工

5-1 3枚折戸

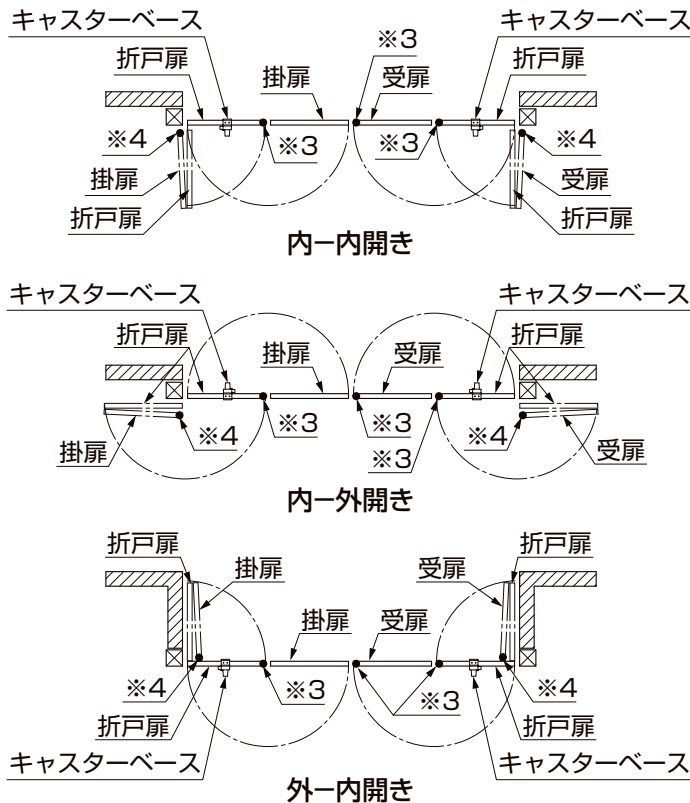


- ①受扉および折戸扉を閉めた状態で落とし棒を収める位置に、落とし棒受けを施工してください。(※1)
- ②掛扉および受扉を開いた状態で落とし棒を収める位置に、落とし棒受けを施工してください。(※2)

ポイント

- ※2の位置は、必ず受扉・掛扉の落とし棒位置に合わせてください。折戸扉の落とし棒位置に合わせてと門扉の固定ができません。
- 落とし棒受けの埋込位置は、現場合わせで施工してください。左図の門扉納まりは一例を示します。

5-2 4枚折戸



- ①受扉および折戸扉を閉めた状態で落とし棒を収める位置に、落とし棒受けを施工してください。(※3)
- ②掛扉および受扉を開いた状態で落とし棒を収める位置に、落とし棒受けを施工してください。(※4)

ポイント

- ※4の位置は、必ず受扉・掛扉の落とし棒位置に合わせてください。折戸扉の落とし棒位置に合わせてと門扉の固定ができません。
- 落とし棒受けの埋込位置は、現場合わせで施工してください。左図の門扉納まりは一例を示します。

取説コード

T033

JZZ623822A
201303A_1041
201607B_1047